

様式第11号（第10条関係）

松本市地域づくり推進交付金事業報告書

申請者（団体）名 城東地区まちづくり協議会

1 事業名： 城東地区総合防災訓練に伴う防災備品整備事業及び防災訓練実施	
実施主体	城東地区まちづくり協議会・防災部会等
実施日（期間）	平成28年7月1日～平成29年3月5日
実施場所	地区内、（医療救護所：清水中学校、旭町中学校）
事業概要	突然の災害に対しても対応できる体制を整えるため、防災訓練を継続して実施していくとともに、防災備品の充実を図りました。 ・大型テントの購入（1張） ・折りたたみ式リヤカー購入（2台） ・防災訓練の実施（医療救護所への搬送訓練 29.3.5実施）
地域づくりの成果・効果	防災備品を充実し訓練を実施することで、実際の災害時においても、円滑な避難所運営等に繋げることができる。また、医療救護所への搬送訓練を行い問題点を抽出した。
課題	城東地区まちづくり協議会所有の防災倉庫が無いため、防災倉庫の整備が必要である。
事業決算額	302,400円（うち交付金 152,400円）

2 事業名： 城東地区ふれあいまつり開催事業	
実施主体	城東地区まちづくり協議会、ふれあいまつり実行委員会
実施日（期間）	平成28年10月29、30日
実施場所	城東地区福祉ひろば・元町児童館
事業概要	城東地区福祉ひろばまつりを開催し、歌やダンスの発表、模擬店の開催等を行うとともに、地区住民の作品などを展示する城東地区文化展を開催しました。
地域づくりの成果・効果	地区住民の親睦と地区意識の高揚を図り、団結力を強め地域力のアップを図りました。
課題	ふれあいまつりは、地区全体のふれあいの場として有用であるが、2日間に及ぶため役員に準備や片づけなど多くの負担がかかり大変である。また、町会行事と重なる時期でありマンネリ化し易く、今後、事業継続には工夫が必要となる。

事業決算額	169,524円（うち交付金 129,376円）
-------	--------------------------

3 事業名： 城東地区夏祭り	
実施主体	城東地区まちづくり協議会、夏祭り実行委員会
実施日（期間）	平成28年8月10日
実施場所	城東地区公民館
事業概要	夏祭りの一部として、歌の発表会を行う。 地区内の個人やカラオケサークルによる熱唱の場を設け、日頃の成果を発表しました。場所：城東公民館
地域づくりの成果・効果	地域住民と歌唱者が一体となり、顔見知りになることにより、有事の際の絆づくりを構築しました。
課題	今年は「山の日」の記念に行ったが、今後事業を継続するためには地区住民のより一層の参加が必要となります。
事業決算額	51,840円（うち交付金 51,840円）

4 事業名： 城東地区まちづくり協議会視察研修事業	
実施主体	城東地区まちづくり協議会、城東地区社会福祉協議会
実施日（期間）	平成28年6月28日
実施場所	佐久市 内山地区
事業概要	「住民主体の支え合い」の活動事業について研修を行った。 住民の居場所づくりを行い、老後になっても安心して暮らせるように、話し合いや意見の交換の場を設けました。
地域づくりの成果・効果	城東地区が目指している地域包括ケアシステムの先進地事例として研修した。この事例を参考に、地域包括ケアシステムの地元説明会を実施しました。
課題	地域包括ケアシステムは、地区ごと、町会ごとに異なる状況で、如何に地域住民の協力を得て構築するか、参考となる先進地の選定が難しい。
事業決算額	16,408円（うち交付金 0円）

5 事業名： 城東地区まちづくり協議会運営事業	
実施主体	城東地区まちづくり協議会
実施日（期間）	平成28年4月1日～平成29年1月26日
実施場所	地区内

事業概要	城東地区まちづくり協議会の運営を行うもの。 運営にあたり、事務用消耗品、会議資料印刷代、開催通知印刷代、各種説明会のお茶代として支出しました。
地域づくりの成果・効果	城東地区まちづくり協議会の運営を行うため、関係者への通知や会議の印刷物を作成及び説明会のお茶代等として支出することにより、事業の円滑化が図られました。
課題	まちづくり協議会の運営には、継続的な財源確保が必要となる。
事業決算額	21,479円（うち交付金 0円）

※ 事業実施が確認できる資料（チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等）を添付してください。